



# 風景づくりの人づくり

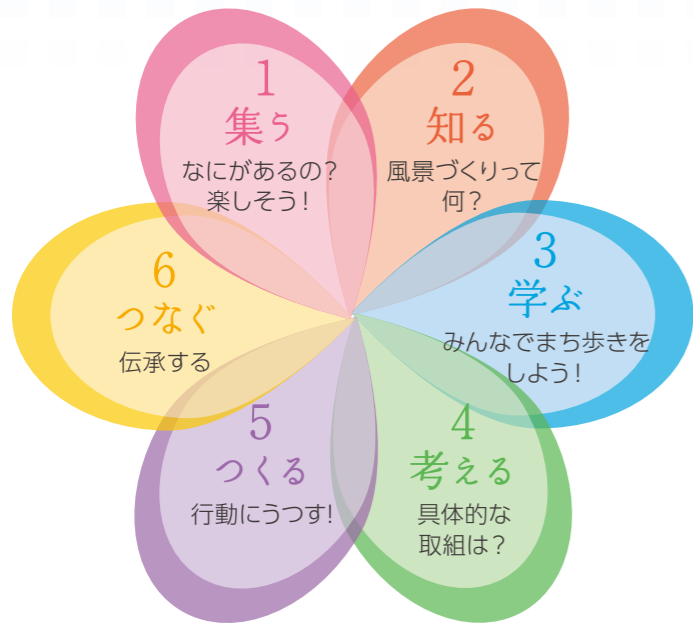


沖縄県土木建築部 都市計画・モノレール課  
令和8年3月

〒900-8570 沖縄県那覇市泉崎1-2-2 行政棟11階(南側・市役所より)  
電話番号:098-866-2408 FAX:098-866-5938

令和7年度  
沖縄らしい風景づくりに係る人材育成事業

# 風景づくり の 人づくり



## I. 風景づくりサポーターの育成

地域住民等を対象にまち歩きや実地研修等を通し、景観形成の担い手となる人材を育成します。

## II. 地域景観リーダーの育成

各地区リーダーの意識醸成とネットワークづくりや行政担当者との連携づくりをねらいとして研修会を実施します。

## III. 景観行政コーディネーターの育成

県内市町村等の景観行政担当者を対象に、景観に係る基礎的また実践的研修を実施します。



「沖縄らしい風景づくり」には、  
風景づくりに貢献できる人材が  
必要です。

豊かな自然環境と固有の歴史文化から形成されてきたかつての沖縄の風景は、「美しい」と評された首里の都に代表されるように豊かなまちなみが形成されていました。しかし、その美しい風景・まちなみは先の大戦により破壊され、終戦後は、無秩序な都市化が進みました。その結果、かつての沖縄らしい風景・まちなみが失われてしまいましたが、近年、沖縄らしい風景を取り戻し、沖縄の魅力や県民の質的豊かさの向上を求める声があがってきています。

魅力あふれる沖縄らしい風景づくりには、環境や景観に配慮したまちなみの整備とあわせて、個性豊かな風景づくりに貢献できる人材が必要となるため、沖縄らしい風景づくり促進事業の一環として、風景づくりに貢献する人材の育成をスタートしております。

令和6年度は、“美ら島沖縄”風景づくり先導地区として認定された「首里城周辺地区」「浦添グスク周辺地区」の2地区を対象として、風景づくりに貢献する人材の育成を実施しております。



まずは「知ってもらうこと」から。  
「県民的なムーブメントの形成」が  
最終目的です。

沖縄県は平成24年に策定した「沖縄21世紀ビジョン基本計画（沖縄振興計画）」において「沖縄らしい風景づくり」の施策展開を位置づけ、時間とともに価値が高まる地域づくり「価値創造のまちづくり」をテーマに、沖縄の特性にふさわしい良好な景観の形成を促進していく「沖縄らしい風景づくり促進事業」をすすめてきました。

令和4年5月には、「新・沖縄21世紀ビジョン基本計画」を策定し、引き続き地域住民が主導的役割を担う風景づくりの推進体制の構築をすすめています。



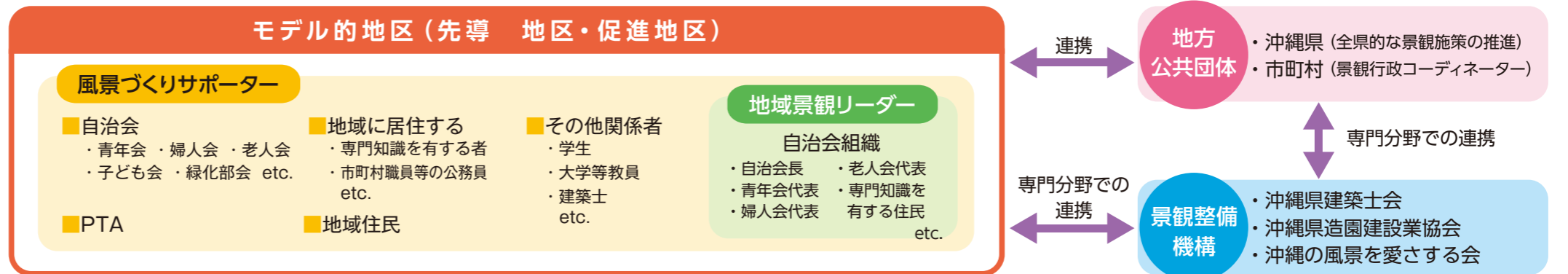
「風景」は、  
人が守り、つくってゆくものです。

沖縄の風景づくりに係る人材育成の中、とりわけ風景づくりサポーターについては、小中高生から働き盛り世代、高い年齢層まで、幅広い年齢層に対する人材育成が重要です。そのため自治会組織に働きかけ、子ども会や婦人会、老人会などと連携し各年齢層の参加を呼びかけます。



「風景づくりに係る人材育成事業」には、  
未来へつなぐメッセージがあります。

風景づくりは長い期間を要する取組です。この取組を、次の世代につなぐ取組がこの「沖縄らしい風景づくりに係る人材育成事業」です。単に活動の結果として生まれる風景だけではなく、その過程で集い、知り、学び、考え、つくるそれぞれの意味を感じ次世代へ伝えていきます。



### ～モデル的地区の種類～

“美ら島沖縄”風景づくり先導地区：  
本県の風景づくりのトップランナーとして他地区をけん引する地区

“美ら島沖縄”風景づくり促進地区：  
現に良好な景観が形成または景観形成に向けた取組が予定されており、風景づくり先導地区への移行を促進する地区

### モデル的地区とは

沖縄県特有の風土に根差したまちなみ景観や地域の人々の暮らしの景観など様々な魅力を有する地区を認定し、それらを守り・育てていくために官民一体の取組を支援することを目的としています。

モデル的地区に認定された地区は、その良好な景観が沖縄県共有の財産であることを認識し、それらの維持・向上に努めるとともに、沖縄らしい風景づくりのトップランナーとして良好な景観形成をけん引していく役割を担います。

# これからの風景づくりのために

## 首里当蔵町自治会

当蔵町公民館井戸の修景と周辺美化活動

公民館周辺の井戸修景では、地域住民が協力し、琉球石灰岩を用いた井戸の整備や、首里城の瓦を活用した、赤瓦の公民館と調和する花壇づくりを行いました。井戸の多面的な価値を再認識するとともに、地域資源を生かした風景づくりを学ぶ機会となりました。



首里当蔵町自治会  
公民館内井戸修景の様子



首里当蔵町自治会  
修景後の井戸と赤瓦の公民館

## 首里三ヶ城南校区まちづくり協議会

眺望の素晴らしい首里崎山公園雨乞御嶽前広場の桜・植樹活動

崎山公園雨乞御嶽前広場にて、城南小学校6年生が卒業記念として植樹・施肥を実施しました。さらに、新たな試みとして夜桜まつりを開催し、多くの地域住民にご来場いただきました。今後は、樹木の適切な管理と財源の確保を図るとともに、首里城をより身近に感じられる取組が期待されます。



首里三ヶ城南校区まちづくり協議会  
児童による植樹の様子



首里三ヶ城南校区まちづくり協議会  
児童や地域の方が参加した式典の様子

## 浦添前田地区

浦添グスクへの玄関口・  
前田駅前広場植栽園地修景活動

まち歩きや勉強会を通じて地域資源を再確認し、前田駅前広場での風景づくりに取り組みました。計画的整備や管理体制の構築、月桃の植栽や中学生の参加により地域の理解と景観意識の向上につながりました。



浦添前田地区  
前田駅前広場周辺の植栽



浦添前田地区  
月桃についての勉強会

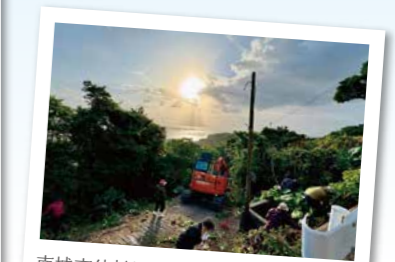
## 南城市仲村渠地区

仲村渠樋川ライトアップ・  
旧集落道再生・整備等活動

仲村渠樋川を、地域の子供たちと一緒に手造りした60個の灯籠でライトアップしました。また、旧集落道(ヒラバルグラー)の樹木を伐採・整備し、眺望を再生しました。さらに、伝統行事「親田御願」のための祭祀衣装を製作するとともに、樋川周辺の植栽管理計画を専門家と検討し、地域資源の活用と環境整備に取り組みました。



南城市仲村渠地区  
子供たちと灯籠づくり



南城市仲村渠地区  
旧集落道(ヒラバルグラー)の再生

### 風景づくりサポーターの育成プログラムの進め方

- ①地区別情報交換会（事業説明会）  
活動内容等の振り返り/新たな課題等の意見交換
- ②実地研修の企画検討  
活動テーマ、研修内容、スケジュールの検討
- ③地区景観学習・点検整理（講習会・まち歩き・ワークショップ）
- ④実地研修（催し等含む）の実施  
風景・景観まちづくり活動として広く住民への参加を呼びかけ
- ⑤各地区のまとめ  
各地区の活動をとりまとめリーダーによる活動報告会へつなげる
- ⑥各地区へのアンケート調査の実施・とりまとめ  
意欲向上、関心度、評価等の把握

## ① 首里当蔵町自治会の取組

### ～当蔵町公民館井戸の修景と周辺美化活動～

#### 《地区の概要》

- 当蔵町は首里台地の中心地に位置し、首里城、円覚寺、弁財天堂など数々の寺院や御殿屋敷が点在し、琉球王朝時代に王都として栄えたまちです。
- 古井戸・拝所(御嶽)や石垣、宿道など生活文化的資源も多く残っており、自治会が中心になって昔ながらの御願行事や伝統行事、旗頭等取組が今日まで継承されています。
- かつて、当蔵大通りと呼称された龍潭通りは、その沿線地区が都市景観形成地域(平成14年)に指定され、首里城下の生活景と歴史的景観まちづくりを推進する重要なエリアとなっています。
- 築75年の旧公民館(昭和25年に設立)は地域の皆さんの心の拠り所であり、長い間、愛されてきました。かつては、村屋でもありました。
- 今年度、新しい公民館へと建替え、現公民館の雰囲気を残し、古都首里らしく赤瓦をのせました。住民の憩いの場、子ども達がのびのびと遊べる場としたいです。
- 公民館敷地内の大ガジュマルは、子ども達のいい遊び相手、クリスマス期間はイルミネーションで飾り、コンサートが開かれています。
- 公民館内の井戸の歴史について近隣の高齢者に聞き取りをしましたが、詳細は不明です。水遊びや花の水やりに使っていたとのこと。



公民館敷地内の大ガジュマル



修景前の公民館敷地内の井戸



安谷川嶽(アダニガーダキ)



天王寺井戸(重陽の節句時)



当蔵町の旗頭

#### 《今回の取り組みの概要》

令和7年	7月～9月	事業説明・趣旨の確認、活動方向意見交換、近隣の高齢者への聞き取り調査
	12月21日	天王寺井戸の清掃と植栽作業
令和8年	2月1日	井戸への石張り作業、赤瓦破片による壁面修景作業、花壇の整備、公民館周りの植栽

**当蔵町公民館 井戸修復作業のご案内**  
皆さんのご協力をお願いします。

日時 令和8年2月1日(土)

時間 午前：9時～12時  
午後：12時～17時

ご都合の良い時間においでください。午前・午後とも参加の方は昼食を準備しています。

**作業内容**  
①井戸のコンクリート面に琉球石灰岩を張る。  
②花壇に首里城からもらった破瓦を張る。  
③公民館裏手の花壇に桜・ランタナ・ジャスミンの植栽(那覇市より配布)

プロの職人さんが教えてくれます。子どもも楽しくできる作業です。

当蔵町自治会

## 実地研修の内容

### ●井戸の修景と周辺美化活動



みんなで力を合わせて、井戸への琉球石灰岩はりつけ作業の様子



目地入れ作業



豊かな水量をたたえた井戸



新しくなった赤瓦屋根の公民館と修景したポンプ



首里城からの赤瓦をセメントではりつける作業の様子



作業終了後の記念写真

### ●天王寺井戸の清掃と植栽活動



公民館花壇への植栽  
※草木とたい肥是那覇市より提供



天王寺井戸の清掃と植栽作業 ※草花苗とたい肥是那覇市より提供



## 今回の実地研修を通して

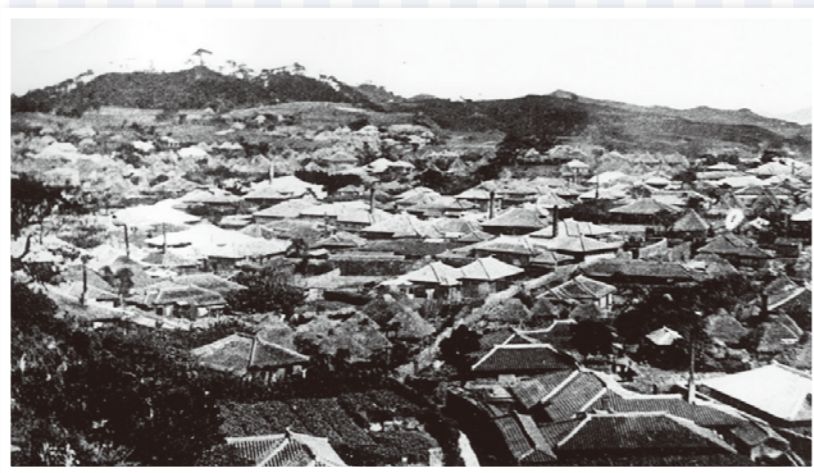
- 公民館周辺の井戸修景や美化活動では、琉球石灰岩や首里城の瓦を活用し、地域住民が協力して、広場の風景づくりに取り組むことができました。赤瓦の新公民館と釣り合う趣のある井戸になりました。
- また、災害時の生活用水確保など井戸の多面的価値を再認識する成果が得られ、地域資源を生かした風景づくりを学ぶ貴重な機会となりました。
- 地域の人材や知識の発掘が不十分であり、町の歴史や昔の生活の様子など高齢世代への聞き取り調査による体系的記録の整理が必要とされています。
- 若い世代の参画や活動の継続的な仕組みづくりが必要であり、研修結果を地域全体の風景づくりに伝えるための説明板の設置等工夫が求められています。

## ② 首里三ヶ城南校区まちづくり協議会の取組

～眺望の素晴らしい首里崎山公園雨乞御嶽前広場の桜・植樹活動～

### 《地区の概要》

- 首里三箇とは、崎山・赤田・鳥堀の三町を指す名称です。17世紀から18世紀にかけて、泡盛造りは首里三箇と呼ばれる地域内に限定されていました。この地域は湧き水が豊富で、水田も近かったため、醸造と蒸留に適していました。
- 城南小学校区では、平成5年(1993年)6月、首里三ヶ青少年健全育成会(略称:三青会)が発足し、「地域の青少年は地域で守り育てよう」を合言葉に、毎月の防犯パトロール、自治会間の情報共有等に努めてきています。
- その後、令和元年6月、三青会を発展的継承した首里三ヶ城南校区まちづくり協議会を設置し、これまでの三青会活動に加え、校区内の課題解決、子どもたちの健全な育成を図る活動を展開しています。
- 崎山公園雨乞御嶽前の広場は、城南小や首里カトリック教会及び幼稚園の近くにあり、雨乞御嶽では大早魃時に神女を従えた国王自らによる雨乞いの儀式が行われていました。眺望の素晴らしさでも知られ、首里八景にも詠まれています。



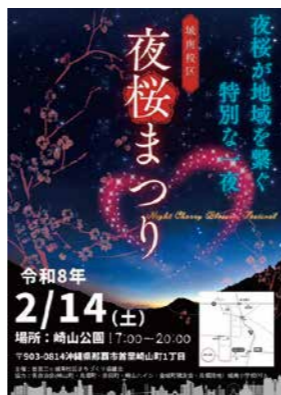
首里城からみた首里三箇地区の戦前の様子  
出典:那覇市歴史博物館提供



首里古地図に描かれている雨乞御嶽



首里崎山公園の雨乞御嶽広場に隣接する展望台からの眺め



夜桜まつりの案内チラシ

### 《今回の取り組みの概要》

令和7年	7月～8月	関係者への事業説明、協議会役員への事業内容説明、活動内容の決定、活動のアイデア出し
令和8年	1月26日	首里崎山公園への桜の植樹 (城南小学校6年生、吹奏楽部、地域企業)
	2月14日	夜桜まつりの開催



協議会役員との意見交換の様子

### 美地研修の内容

#### ●桜の植樹活動



多くの関係者が参加して開催された式典の様子。奥には復元再建中の首里城が確認できる



城南小学校6年生による植樹の様子



活動後の集合写真



首里崎山公園の雨乞御嶽広場に隣接する展望台から眺める夜景

### 今回の美地研修を通して

- 城南小学校との連携によって小学校6年生全員が参加し、植樹及び施肥を卒業記念の活動とすることができました。
- 事後活動の新たな試みとして夜桜まつりを開催しました。それにより、イベントの準備や出展・出演で、中高生をはじめ多くの地域の方々の協力を得るとともに、多くの方々が来場するイベントとすることができました。
- 植樹した桜や雨乞御嶽前広場に植栽されている樹木の管理と、その財源の確保が課題です。
- 地域の中でも最も重要な景観資源の一つである首里城をより身近な存在として感じられるような取組が必要です。

### ③ 浦添前田地区の取組

#### ～浦添グスクへの玄関口・前田駅前広場植栽園地修景活動～

##### 《地区の概要》

- 市の東側、浦添グスク丘陵南面に広がる旧集落地域であり、盆地状を呈し要所に井戸や水路、「ジリチン毛」等拜所が残っており、新暦8月に前田棒術と綱引きが演じられています。
- 浦添グスクの東端にそびえ立つ巨岩「ワカリジー」は、市内で最も高くランドマークとなっており、岩下には英祖王の子「伊祖の子・イソノシー」を祀った拜所とされ、ワカリジーを信仰の対象として仰ぐ地区です。
- 県道38号線沿道は、シンボル道路（浦添都市軸）の一端を担う県道浦添西原沿線地区として指定され、グスクの麓にふさわしい歴史的景観まちづくりとして駅周辺地区や前田北地区など重点地区等追加指定を進めています。
- 集落の成り立ちや伝統行事、ワカリジーの保全継承等、昔ながらの地域の良さを活かした前田らしい風景づくりについて、自治会青年会・OBが中心になり小学校と連携し風景学習活動等展開しています。

##### 《地区の特徴》

- ワカリジーは沖縄戦では米軍に「ニードルロック（針のような岩）」と名付けられ、2017年ハリウッド映画「ハクソー・リッジ」の公開後、沖縄戦最大の日米軍の激戦地であった前田高地一帯への訪問客が増えています。
- モノレール車窓、また小学校南方には、14世紀琉球時代の中山王の居城であった浦添グスク丘陵とシンボル・ワカリジーが緑のパノラマ景として広がっています。

##### 《今回の取り組みの概要》

令和7年	7月～8月	事業説明・意見交換、顔合わせ、今年度の活動企画の検討、浦添グスク周辺を歩き、地区の歴史・景観まちづくりの資源確認
	9月～10月	前田駅前広場現場確認、関係者との現場再点検、地域資源を活用した風景づくり研修会
令和8年	11月	前田駅前広場の草刈り、ゲットウ栽培・管理の勉強会
	1月	ゲットウ等植栽の植込み
	2月～3月	植栽地への水やり等維持管理活動



前田小学校からグスク・ワカリジー、前田駅方面を望む



ジリチン毛から見たモノレール・浦添前田駅一帯の眺望

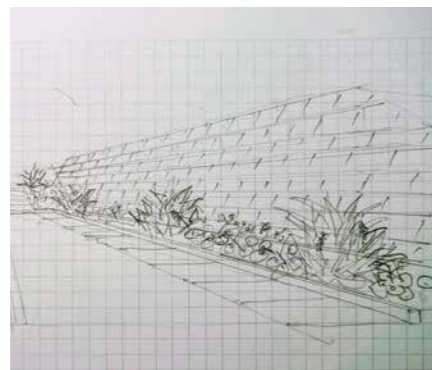


前田の地域資源、ゲットウ畑（83か所ある）

#### ワークショップ等の活動



関係者を含めての現場点検後、植栽箇所の絞込みや排水不良箇所の改善要望など調整を実施



月桃についての勉強会（植生・管理・活用）

#### 実地研修の内容

##### ●前田駅活動区画の草刈り作業



道路ボランティア団体「翠葉会」を立ち上げ活動開始



##### ●前田駅活動区画の植込み活動と植込み後の様子



地域の中학생と一緒に緑の風景づくり



植栽後のゲットウ、ツワブキ



#### 今回の実地研修を通して

- 地域資源の再確認を目的としたまち歩きや、専門家を招いた勉強会を実施するとともに、新たな公的空間である前田駅前広場を舞台とした風景づくり活動に取り組みました。
- 前田駅前広場の整備にあたっては、27工程に及ぶ計画のもと、現地確認や歴史的価値の学習を重ね、浦添城周辺地区としての位置付けや風景の在り方について理解を深めました。
- また、道路ボランティア制度への登録により継続的な管理体制を整備し、排水不良の改善については関係機関との連携により実現しました。
- 植栽には地域に馴染みのあるゲットウ（月桃）を採用し、農家による講習会を通じて植栽や管理に関する専門知識を学び、加工や活用の可能性についても検討してみました。地域の中学生在が植栽ボランティアとして参加することで、学習機会と地域活動を結び付けた取組となり、次世代の景観意識の醸成にもつながる成果が得られました。
- グスクに配慮した前田駅前広場周辺の風景づくりには、長期的視点が必要であり、持続可能性と省力化の体制構築、関係者と連携した人材育成、地域全体での意識醸成が課題となっており、小学校や自治会との連携や世代交代を見据えた計画づくりも重要です。

## ④ 南城市仲村渠地区の取組

### ～仲村渠樋川ライトアップ・旧集落道再生・整備等活動～

#### 《地区の概要》

- 南城市仲村渠地区は、沖縄本島南部に位置し、背後の森と清水に恵まれた自然環境の中で形成されてきた伝統的集落です。
- 令和8年3月末時点の総人口は241人で、高齢化率は約40%と高いものの、自治会加入率が高く、地域活動が継続的に行われている点が特徴です。
- 集落内には屋敷林や石畳、拝所などが残り、仲村渠樋川（ヒージャーガー）を中心とした水文化が、暮らしと景観の基盤となっています。
- 仲村渠は沖縄における稲作発祥の地とされ、「親田御願」や400年以上続く綱曳き行事など、稲作文化と深く結びついた祭祀・行事が現在も継承されている地区です。
- かつて広がっていた棚田の風景は失われつつあるものの、近年は若い世代による稲作会の立ち上げなど、地域資源を見直し再生につなげる動きが見られます。
- また、泉掃除（カーソージ）や共同草刈り、美化活動などが住民主体で定期的に行われており、景観を「守り、つくる」意識が地域に根付いています。
- 自然、歴史、住民の結び付きが一体となった景観が仲村渠地区の大きな魅力であり、次世代へ継承すべき重要な地域資源となっています。



仲村渠樋川（ヒージャーガー）国指定重要文化財



400年以上続く仲村渠綱曳き



親田御願（ウエダウガン）



完成した衣装を纏い親田御願の田植え作業を行う様子

#### 《今回の取り組みの概要》

	8月～9月	事業説明・趣旨の確認、活動方向意見交換、仲村渠の風景を守り育てるためのゆんたく会
令和7年	9月21日	子どもたちとの灯籠づくり
	10月11日	観月会・仲村渠樋川ライトアップ
	1月11日	ヒラバルグブー（旧集落道）再生・整備
令和8年	1月18日	仲村渠風景づくり協議会発足
	1月30日	仲村渠樋川園地 修景計画案作成
	2月25日	親田御願実施（制作衣装のお披露目）

## 実地研修の内容

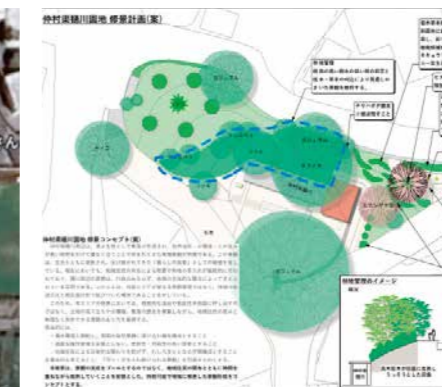
### ●手作り灯籠による仲村渠樋川ライトアップ



### ●旧集落道（ヒラバルグブー）の再生



### ●仲村渠樋川園地の整備計画



## 今回の実地研修を通して

- 今年度の活動として、区民手作りの灯籠による国の重要文化財である仲村渠樋川のライトアップや、かつての生活道である旧集落道の再生、さらには伝統行事「親田御願」のための祭祀衣装の製作等を行いました。
- 携わる方々のマンパワー不足によって管理が課題となっている仲村渠樋川園地については、造園設計専門家を招聘し整備計画案を作成しました。
- 灯籠づくりは想定したより時間を要したため、次年度も継続する際には製作方法について再検討する必要があります。
- 旧集落道及び仲村渠樋川園地については、植栽方法や防草対策等について景観と管理の両面から検討する必要があります。

## II. 地域景観リーダーの育成

沖縄らしい風景づくりや景観形成に向けて、「美ら島沖縄」風景づくり先導地区である「首里城周辺地区」「浦添グスク周辺地区」から那覇市(首里当蔵町自治会、首里三ヶ城南校区まちづくり協議会)・浦添市前田地区、その他地区より南城市仲村渠地区(R7.12に促進地区認)の個性や課題、可能性に対する気づきを促し、地域景観リーダーの活動の場づくりや目標づくりに向けて知見を広げるなど意識醸成を図るとともに、各地区のリーダーとのネットワークづくりや行政担当者との連携づくりをねらいとして、全2回(全体講習会2回)の研修会を実施しました。

### 第1回研修会(全体講習会)

実施日/令和7年8月16日(土)

■ 9:30~11:30

〈場所〉 JAおきなわ首里城下町支店(2階ホール)

〈内容〉

沖縄県より「風景づくり先導地区及び促進地区、風景づくり人材育成事業」に関する説明を受けたあと、地域リーダーとの意見交換、グループワークショップを通して、各地区の活動の方向性、活動内容について検討しました。



今年度の活動方向性について  
地域景観リーダーより報告



地区の活動内容に関するワークショップ



地域景観リーダーによるワークショップ発表

### 第2回研修会(全体講習会)

実施日/令和8年2月14日(土)

■ 10:00~12:00

〈視察先〉 JAおきなわ首里城下町支店(2階ホール)

〈内容〉

各地域の景観リーダーによる活動報告を行うとともに、グループワークショップにおいて活動を振り返り、成果と課題等を再確認した上で今後の展開や展望について話し合いました。



地域景観リーダーによる活動報告



活動の振り返り、今後の展開や展望についての  
ワークショップ



景観リーダーによるワークショップ発表



景観リーダーによる取組報告(首里当蔵町)



景観リーダーによる取組報告(浦添前田)

## 都市景観の日「景観まちづくり活動・教育部門特別賞」受賞記念ツアー

都市景観大賞で特別賞を受賞したことから、地域景観リーダーの育成も兼ねて「まち歩きツアー」を開催しました。地域景観リーダーには人材育成事業で地域で取組んだ内容や実地研修場所の紹介を行いました。一般県民を対象としたことから、参加者が楽しくまち歩きをしていただくための工夫として、歴史や観光のガイドも一緒に同行しました。

### ■ 浦添グスク周辺コース

〈開催日〉 令和8年1月10日(土) 13:30~16:30

〈参加者数〉 28名

〈ガイド〉 仲間地区自治会、前田地区青年会OB、前田地区自治会、うらおそい歴史ガイド友の会



安波茶橋の説明を聞く参加者



仲間自治会によるヒパーチ通り(塙の緑化)の説明



浦添ようどれの説明を聞く参加者



浦添城の前の碑の説明を聞く参加者



前田地区青年会OBによる  
浦添グスク遊歩道ライトアップ活動の説明



前田地区青年会OBによる  
わかりじーライトアップ活動の説明

### ■ 首里城周辺コース

〈開催日〉 令和8年1月18日(日) 9:00~12:00

〈参加者数〉 26名

〈ガイド〉 当蔵町自治会、城西小学校区まちづくり協議会、首里三ヶ城南校区まちづくり協議会、NPO那覇市街角ガイド



城西小学校区まちづくり協議会による  
芭蕉紙づくり(卒業証書作成)活動の説明



大和井戸の修繕・修景活動の説明



当蔵町自治会による天王寺井戸の  
修繕・修景活動の説明



赤田寒水樋川井戸の説明を聞く参加者



首里三ヶ城南校区まちづくり協議会による  
桜の植樹活動の説明



園比屋武御嶽石門の説明を聞く参加者

景観施策の実施主体となるのは主に市町村です。市町村の景観施策促進をはかるため、県内市町村の景観行政担当者を対象に、景観の実務に関する知識および技術の向上を図ることを目的として、景観行政コーディネーター研修会（講習会2回、県外視察1回）を実施しました。

基礎的研修

基礎的研修は、県行政担当者（景観評価システム対象事業担当者）、県内市町村景観行政担当者を対象に、県内外講師による景観に係る基礎的講習を行い、景観に関する知識向上を図りました。

●R7年度景観行政研修会プログラム【基礎編／行政担当者（半日×2回）】

日	会場	時間	講義タイトル	講義等の概要	担当講師
1日目 9月18日(木)	那覇市 IT創造館 大会議室	10:00 ~10:05	開会のあいさつ	研修の主旨とプログラムの案内	沖縄県土木建築部都市計画・ モノレール課
		10:10 ~11:40	景観色彩・環境色彩について	景観色彩・環境色彩の考え方とコントロール方法(事例) について学ぶ	筑波大学教授 山本 早里
		13:45 ~16:45	色彩計画とワークショップ	色彩景観計画の基本的な考え方や色彩を活かした景観 まちづくりの事例等に学び、ワークショップを通して景 観色彩基準の策定と運用について考える	田邊 学 (株式会社カラープランニングセンター)

実践的研修

実践的研修は、県行政担当者（景観評価システム対象事業担当者）、県内市町村景観行政担当者を対象に、県内外講師による景観に係る実践的講習を行い、景観の実務に関する知識及び技術の向上を図りました。

●R7年度景観行政研修会プログラム【実践編／行政担当者（半日×3回）】

日	会場	時間	講義タイトル	講義等の概要	担当講師
1日目 10月9日(木)	那覇市 IT創造館 大会議室	9:30 ~9:35	開会のあいさつ	研修の主旨とプログラムの案内	沖縄県土木建築部都市計画・ モノレール課
		9:35 ~10:05	糸満市風景づくり計画の 取組について	県内自治体における景観まちづくりの実践事例を紹介、 概説し、そこでの工夫を学ぶ	糸満市建設部まちづくり課
		10:10 ~10:40	八重瀬町景観計画の 一部改訂について	県内自治体における景観まちづくりの実践事例を紹介、 概説し、そこでの工夫を学ぶ	八重瀬町都市整備課
		10:45 ~11:55	「美の原則・基準」に基づく 生活景づくり人づくり (神奈川県真鶴町)	(県外先進事例)県外自治体職員講師による講義。 真鶴町における定性評価・対話型協議による景観づくりの実 践とそこでの工夫を学ぶ	神奈川県真鶴町都市計画課 都市計画係
		13:30 ~14:40	自然・歴史文化が共生する 小田原の都市景観づくりの取組 (神奈川県小田原市)	(県外先進事例)県外自治体職員講師による講義。 小田原市の景観形成の特色ある取組や歴史まちづくりの実践 など、景観づくりの工夫を学ぶ。	神奈川県小田原市都市部 都市計画課景観係
		14:50 ~16:00	世田谷の風景づくりの取組 (東京都世田谷区)	(県外先進事例)県外自治体職員講師による講義。 世田谷の地域個性を生かした風景づくりと「地域風景資産」の 取組等、そこでの工夫を学ぶ。	東京都世田谷区都市整備政策部 都市デザイン課
16:05 ~16:10	事務局からの連絡			事務局	
2日目 10月10日(金)	宜野湾市 西普天間 住宅地区	13:30 ~16:30	宜野湾市景観計画の概要と 西普天間住宅地区の景観 まちづくりの特色について ※現場研修	宜野湾市景観計画の概要及び、西普天間住宅地区景観形成 重点地区の景観形成の特色、新たな景観まちづくりの展望に ついて、現場視察も兼ねて学ぶ	宜野湾市建設部 都市計画課



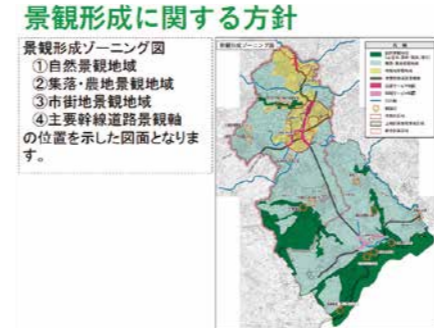
講義の様子



景観色彩計画ワークショップ講義資料



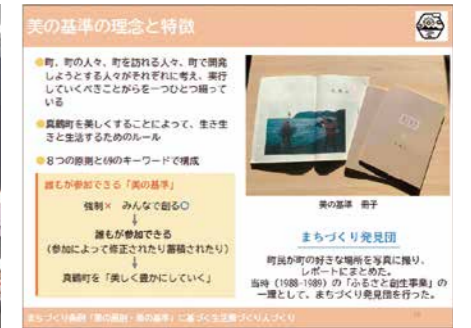
色彩計画フィールドワークの様子



八重瀬町景観形成に関する方針



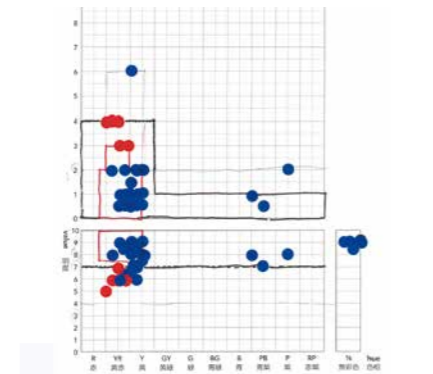
講義の様子



美の基準の理念と特徴(神奈川県真鶴町)



色彩計画ワークショップの様子



色彩計画フィールドワークのまとめ



色彩計画ワークショップ発表の様子



講師と研修参加者との質疑応答の様子



現場視察の講義の様子



現場視察の様子(宜野湾市西普天間住宅地区)

県外先進地事例研修

県内市町村景観行政担当者を対象に住民主導や官民連携の景観づくり、重点地区等の指定、対話型協議を重視した景観形成の取組等に関する現地研修を行い、景観行政担当者の風景づくりに係るスキル向上を図りました。

神奈川県真鶴町 一日目

- 実施日/令和7年10月29日(水)
- 研修内容

真鶴町では、「美の条例」に基づく8つの美の原則と69のキーワードを軸に、対話型協議を重視した景観形成の取組を学びました。定量的な数値基準に依らず、敷地や周辺環境を丁寧に読み解き、「真鶴らしい美とは何か」を関係者で共有する過程そのものを重視していました。景観計画策定後も運用方法を柔軟に見直し、人づくりと一体となった持続的な景観行政の実践が印象的でした。



神奈川県小田原市 二日目

- 実施日/令和7年10月30日(木)
- 研修内容

小田原市では、景観法に基づく全市域の景観計画と、重点地区指定や色彩計画等を組み合わせた総合的な都市景観形成の取組を学びました。歴史的城下町としての基盤や自然環境を背景に、官民連携による面的な歴史まちづくりが進められており、景観と生業・文化を一体的に捉えていました。制度運用と現場課題への対応を両立させる実践的な取組がされておりました。



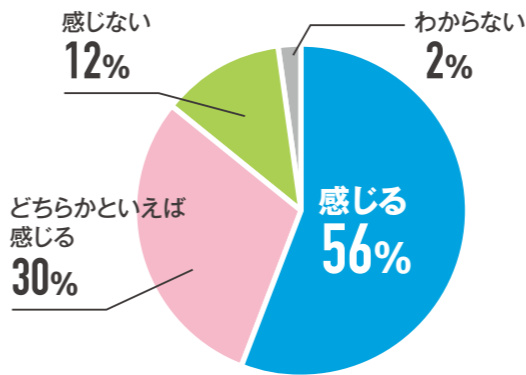
東京都世田谷区 三日目

- 実施日/令和7年10月31日(金)
- 研修内容

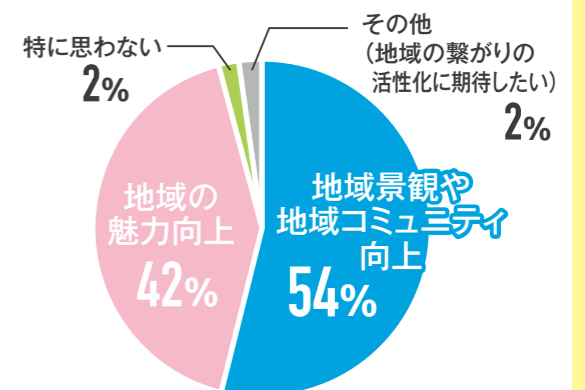
世田谷区では、住民主導の風景づくりを柱とする先進的な景観行政の取組を学びました。「地域風景資産」や「界わい宣言」など、住民の思いや主体的関与を引き出す制度設計が特徴であり、景観を守り育てる意識の共有に大きく寄与しておりました。あわせて、ガイドブック等による分かりやすい情報提供により、合意形成を支える工夫が随所に見られ、地域個性を生かした協働の取組が実施されておりました。

4地区で風景づくりサポーター活動の参加者に対してアンケート調査を実施し、43名の方から回答がありました。その一部を紹介します。

あなたの地区は「沖縄らしい独特で魅力のある風景(地域)」だと感じますか？



風景づくりサポーター活動の取組について、あなたの考えを教えてください



風景・景観づくりのポータルサイト

「風景結々」は沖縄県が運営する風景・景観づくりのポータルサイトです。風景づくりの基本的な考え方から実際に活かすまでをわかりやすくコンテンツ化しております。また「沖縄風景アーカイブ」では沖縄のさまざまな風景写真を楽しくみることができます。「風景結々」は景観行政や沖縄県の風景づくりの取組及び風景づくりに関する協議会の活動について、より効果的な情報発信を図っていきます。



「風景結々」トップ画面

ふうけいゆいゆい  
**風景結々**

web <https://www.fukei-okinawa.jp/>



スマートフォントップ画面